



# プライム回線サポート

- [プライム回線サポートの概要](#) (1 ページ)
- [プライム回線サポートの前提条件](#) (1 ページ)
- [プライム回線サポートの設定タスク フロー](#) (1 ページ)
- [プライム回線サポートの連携動作](#) (4 ページ)
- [プライム回線サポートのトラブルシューティング](#) (4 ページ)

## プライム回線サポートの概要

[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] でプライム回線サポートを設定できます。設定後、電話がオフフックのときに、いずれかの回線でコールを受信すると、システムは常にコールのプライマリ回線を選択します。

## プライム回線サポートの前提条件

プライム回線サポート機能と互換性のあるデバイスを次に示します。

Cisco Unified IP Phone 7900 シリーズ、8900 シリーズ、および 9900 シリーズ

サポートされているデバイスの詳細については、最新バージョンの『*Cisco Unified IP Phone Guide*』および『*Cisco Unified IP Phone Administration Guide*』を参照してください。

## プライム回線サポートの設定タスク フロー

Cisco CallManager サービス、またはデバイスとデバイスプロファイルに、プライム回線サポート機能を設定するには、次のいずれかの手順を実行します。

始める前に

- [プライム回線サポートの前提条件](#) (1 ページ) を確認してください。

## 手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	クラスタ全体のプライム回線サポートの設定 (2 ページ)	(オプション)。Cisco CallManager サービスにプライム回線サポートを設定します。その場合、この機能はクラスタ全体に適用されます。
ステップ 2	デバイスのプライム回線サポートの設定 (3 ページ)	(オプション)。クラスタ全体でプライム回線サポート機能を有効にする必要がない場合には、クラスタ内の特定のデバイスにこの機能を設定します。  (注) このパラメータを設定すると、オフフックになった場合、同じ電話の別の回線でコールの呼出音が鳴ったとしても、第一の回線のみがアクティブになります。そのため、他の回線でのコールへの応答は行われません。

## クラスタ全体のプライム回線サポートの設定

## 手順

- ステップ 1 [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[システム (System)] > [サービス パラメータ (Service Parameters)]。
- ステップ 2 [サーバ (Server)] ドロップダウン リストで、Cisco CallManager サービスを実行しているサーバを選択します。
- ステップ 3 [サービス (Service)] ドロップダウン リストから、[Cisco CallManager] を選択します。
- ステップ 4 [常にプライム回線を使用 (Always Use Prime Line)] クラスタ全体サービス パラメータから、次のいずれかのオプションをドロップダウン リストから選択します。
- [はい (True)] : 電話機がオフフックになると、プライマリ回線が選択され、アクティブ回線になります。
  - [いいえ (False)] : 電話機がオフフックになると、IP Phone がアクティブ回線として使用可能な回線を自動的に選択します。

このサービス パラメータのデフォルト値は [いいえ (False)] です。

**ステップ 5** SIP 電話でこの変更を有効化するには、[Cisco Unified CM の管理 (Cisco Unified CM Administration)] で [設定の適用 (ApplyConfig)] ボタンをクリックします (たとえば、[デバイス設定 (Device Configuration)] ウィンドウや [デバイス プールの設定 (Device Pool Configuration)] ウィンドウのほか、[設定の適用 (ApplyConfig)] がオプションになっているウィンドウにあります)。

(注) 新しい設定が SIP 電話に適用されない場合、SIP プライム回線サポートの機能変更は、Cisco CallManager サービスの次のリセットまたは影響を受ける各デバイスがリセットされるまで実装されません。

## デバイスのプライム回線サポートの設定

### 手順

**ステップ 1** [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration)] から、以下を選択します。[デバイス (Device)] > [共通の電話プロファイル (Common Phone Profile)]。

**ステップ 2** [検索と一覧表示 (Find and List)] ウィンドウで、[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)] の設定を変更する電話を選択します。  
[電話機の設定 (Phone Configuration)] ウィンドウが表示されます。

**ステップ 3** [常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)] ドロップダウンリストで、次のいずれかのオプションを選択します。

- [オフ (Off)] : 電話がアイドル状態になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、電話のユーザは、コールを受信した回線からコールに応答します。
- [オン (On)] : 電話機がアイドル状態 (オフフック) になっているときにいずれかの回線でコールを受信すると、このコールにプライマリ回線が選択されます。他の回線のコールは鳴り続け、電話機ユーザはそれらの他の回線を選択して、これらのコールに応答する必要があります。
- [デフォルト (Default)] : Unified Communications Manager は、[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)] サービス パラメータから、Cisco CallManager サービスをサポートしている設定を使用します。

**ステップ 4** [保存 (Save)] をクリックします。

## プライム回線サポートの連携動作

機能	連携動作
常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line)	[デバイス プロファイル (Device Profile) ] または [デフォルトのデバイス プロファイル設定 (Default Device Profile Configuration) ] ウィンドウの [常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ] パラメータで [オン (On) ] を選択した場合、Cisco Extension Mobility ユーザは、Cisco Extension Mobility をサポートするデバイスにログイン後にこの機能を使用できます。
[コール最大数 (Maximum Number of Calls) ] と [ビジー トリガー (Busy Trigger) ] の設定	電話機の回線にすでにコールがあるとき、Unified Communications Manager は [最大コール数 (Maximum Number of Calls) ] と [ビジー トリガー (Busy Trigger) ] の設定を使用して、コールのルーティング方法を決定します。
自動応答 (Auto Answer)	Cisco Unified CM Administration の [自動応答 (Auto Answer) ] ドロップダウンリストから [ヘッドセットで自動応答 (Auto Answer with Headset) ] または [スピーカフォンで自動応答 (Auto Answer with Speakerphone) ] オプションを選択した場合、[自動応答 (Auto Answer) ] の設定が [常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ] パラメータより優先されます。

## プライム回線サポートのトラブルシューティング

### プライム回線サポートを True に設定すると機能しない

**問題** クラスタ全体のサービス パラメータ [常にプライム回線を使用する (Always use Prime Line) ] が [はい (True) ] に設定されており、IP フォンがオフフックになると、プライマリ回線がアクティブ回線になります。セカンダリ回線で電話の呼び出し音が鳴っている場合でも、ユーザがオフフックになると、最初の回線だけがアクティブになります。電話はセカンダリ回線の着信コールには応答しません。ただし、複数のラインアピランスを持つ IP Phone を 7.1.2 電話ロードとともに使用している場合、その電話は第2回線が鳴ったときにプライマリ回線を使用しない。ユーザがハンドセットを取ると、電話はセカンダリ回線のコールに応答します。

**解決法** プライマリ回線の回線ボタンを押します。これにより、コール開始時にセカンダリ回線が話中になりません。

## 着信コールに回答できない (Unable To Answer Inbound Calls)

**問題** IP Phone がオフフックになると、ユーザは着信コールに自動で回答することはできず、コールに回答するために [回答 (Answer) ] ソフトキーを押す必要があります。

**解決法** 問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。[システム (System) ] > [サービス パラメータ (Service Parameters) ]。
2. [サーバ (Server) ] ドロップダウンリストで、Cisco CallManager サービスを実行しているサーバを選択します。
3. [サービス (Service) ] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
4. クラスタ全体のパラメータ (デバイス-電話) で、[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ] を [いいえ (False) ] に設定します。

## 着信コールに自動で回答する (Inbound Calls Are Answered Automatically)

**問題** 着信コールを IP Phone の共有回線で受信すると、ハンドセットを上げるとコールの回答が即時に行われ、コールに回答するか、発信コールを行うかを選択できない。この動作は [自動回線選択 (Auto Line Select) ] を無効に設定しても変わりません。

**解決法** 問題を解決するには、次の手順を実行します。

1. [Cisco Unified CM 管理 (Cisco Unified CM Administration) ] から、以下を選択します。[システム (System) ] > [サービス パラメータ (Service Parameters) ]。
2. [サーバ (Server) ] ドロップダウンリストで、Cisco CallManager サービスを実行しているサーバを選択します。
3. [サービス (Service) ] ドロップダウンリストから、[Cisco CallManager] を選択します。
4. クラスタ全体のパラメータ (デバイス-電話) で、[常にプライム回線を使用する (Always Use Prime Line) ] を [いいえ (False) ] に設定します。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。